

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名（ 久居高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		学校生活の充実と確かな進路保障を通じて、生徒・保護者・地域から信頼され、魅力ある学校づくりを推進する。
(2)	育みたい 児童生徒像	○基本的な生活習慣・規範意識を身につけ、何事にも意欲的、誠実に取り組む創造性豊かな生徒。 ○日々の授業を大切にし、家庭学習等を通じて、学力の定着と向上に取り組む生徒。 ○積極的に部活動に参加し、技術の向上と役割を担うことにより、責任感と協調性のある生徒。
	ありたい 教職員像	○率先して教育活動に取り組む意欲と活力のある教職員集団。 ○さらに充実した授業・「わかる授業」を実践するために、公開授業や教科内・校内での改善活動を積極的に推進する教職員集団。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>【生徒】 充実した授業を受けたい。活発なクラブ活動をしたい。進路希望を実現したい。</p> <p>【保護者】 安全・安心の学校生活。卒業後の進路保障。モラルの向上。社会人として自立できる力を育ててほしい。</p> <p>【地域】 公共心とマナーの育成。地域の普通科高校として信頼できる教育を推進してもらいたい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<p>【保護者】 毅然とした生活指導を行いながらも、子どもの心に配慮した教育を行なって欲しい。</p> <p>【中学校】 学校の様子、卒業生の近況報告、入試情報などを知らせたい。</p> <p>【地域】 交通マナー、公共の場でのマナーを守らせて欲しい。</p>	<p>【保護者】 本校教育方針への理解と協力。家庭でのしつけと指導の強化。</p> <p>【中学校】 連携を密にとりながら信頼関係を構築していきたい。</p> <p>【地域】 本校の教育活動を理解し、協力してもらいたい。</p>	
(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○コロナ禍でストレスや不安を感じている生徒に対応するため、教育相談体制のさらなる充実をはかっていたきたい。</p> <p>○多様な生徒に対応するため、ICT教育を推進し、オンライン授業の活用に取り組んでいたきたい。</p> <p>○地域への情報発信を進めていただきたい。</p>	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>○家庭学習の習慣の意識付けをはかるとともに、基礎学力の向上については授業を充実させることに課題がある。</p> <p>○各取組が学校全体の連携した取組になっていないこと、有効な取組が継続的に実施するシステムが十分でないことに課題がある。そのため、各分掌、学年の取組が全体最適になるように連携を深める必要がある。</p> <p>○多様な生徒への対応が求められる中、面談の機会を増やすなど、丁寧な指導体制を確立するとともに、教育相談体制を充実させる必要がある。</p> <p>○外部の協力も求めながら、生徒の進路選択の助けとなる研修、セミナー等を一層充実させる必要がある。</p>	
	学校運営等	<p>○授業改善については、授業見学だけでなく、研究授業や協議、指導要領の変更点については現職教育等を行うことで、周知だけでなく、本校の目指す教育について共通の認識を持つことが課題である。</p> <p>○具体的な活動・成果指標を客観的に計り、改善点を次年度に提示するシステムとなっていない点に課題がある。</p> <p>○教職員の勤務時間の縮減に向けて、業務のスリム化を一層進めるとともに、休業日の増設など、より目に見える形での方策を検討する必要がある。</p>	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>1. コースの魅力化・充実</p> <p>○普通科・スポーツ科学コースを普通科の中に組み入れ、その特色を継承しながら、よりいっそうの充実をはかる。</p> <p>○生徒の多様な進路希望に対応するため各コースの充実をはかる。</p> <p>2. 進路保障に向けた取組</p> <p>○家庭学習習慣の定着を通じて学力を向上させる。</p> <p>○生徒の進路希望実現に向けて進路指導の内容・体制を充実させ、進路実績の向上を目指す。</p> <p>○規範意識・基本的生活習慣の定着・向上に重点を置いた生徒指導を進める。</p> <p>3. 人権教育の推進</p> <p>○生徒、教職員、保護者が差別につながる言動に出会ったときに気づくことができるように個別の人権問題に係わる実践力を身につける。</p>
学校運営等	<p>1. 教職員の資質向上</p> <p>○新学習指導要領、高大接続改革、ICT教育への対応</p> <p>○授業参観、教科会の活用を通じて教職員の授業力の向上に取り組む。</p> <p>2. 地域への発信</p> <p>○広報活動の体制と内容を改善・充実させる。</p> <p>3. 教職員の働きやすい環境づくり</p> <p>○総勤務時間を縮減し、働きやすい環境づくりを推進する。</p> <p>○部活動指導の工夫・改善、「部活動ガイドライン」への対応。</p> <p>○不祥事防止を他人事としてとらえず、自分の問題としてとらえ、信頼される学校であるよう行動する。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1. コースの魅力化・充実	<p>●令和4年度入学者選抜について、円滑に運営できるよう整備するとともに、中学校への周知を徹底できるよう他の委員会等と連携し、提言する。 【プロジェクト委員会】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会を定期的に開催し、入学者選抜についての提案を行う。 広報委員会と連携し、中学校へ周知する内容をまとめる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案した内容について、各委員会・分掌の達成状況を間接的に評価とする。 	○委員会としての提案はできたが、新型コロナウイルスの影響で広報委員会の活動に繋げることができなかった。	

<p>2. 進路保障に向けた取組</p>	<p>○生徒の進路希望実現に向けて進路指導の内容・体制を充実させ、進路実績の向上を目指す。</p> <p>●生徒の多様な進路希望にきめ細かく対応していくために、進路指導の内容と体制を充実させ、生徒満足度が高い進路指導を展開する。 【進路指導部】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部内での情報共有の強化と、3学年団と進路指導部とのより緊密な連携指導を行う。 ・コロナ禍での進路指導を工夫しながら（ICTの活用など）、2年目を迎える新入試制度に対応していく。 ・各セミナー別指導の内容を充実させる。（専門学校セミナーの新規立ち上げなど） ・チャレンジコースの指導を充実させる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に3年生全員へのアンケートを実施すると共に、各セミナーごとのアンケートを実施し、満足度85%以上とする。 <p>○規範意識・基本的生活習慣の定着・向上に重点を置いた生徒指導を進める。</p> <p>●問題行動(遅刻、交通マナー違反、訓戒、謹慎、懲戒等)を抑止し、生徒指導件数を少なくする活動をすすめる。 【生徒指導部】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭での立番、日頃の声かけ等を行い、生徒との信頼関係を作っていく。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の生徒指導件数比10%減。 <p>●新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、集団発生を防ぐとともに、長期欠席者の早期把握に努め、学年団・教科と連携し指導の充実を図る。 【保健部】</p> <p>●学業、友人関係等の悩みを抱えている生徒や特別な支援を必要とする生徒をスクールカウンセラーや発達支援員などにつなげ、担任、教科担当者とも連携しつつ生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるようにする。 【教育相談】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒対応時や保健だより等の掲示物で感染症対策を周知させる。 ・疾患のある生徒の健康管理を徹底する。 ・生徒の保健室利用を好機ととらえ、問診等を通して生徒自ら生活習慣を改善できる力を養う。 ・生徒の健康状態について学年団、教科との連携を密にし、情報共有と指導を行う。 	<p>○【達成】満足度98%</p> <p>○【達成】昨年度比60%減</p>	<p>※</p>
----------------------	--	---	----------

	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒等について個別の指導計画、支援計画を作成する。 ・職員に向けて相談室だよりを5回発行する。 ・悩みを抱えた生徒への対応を考える機会になるような参加型の職員研修を実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席者の減少。 ・学校感染症罹患生徒の減少。 ・必要な生徒に個別の指導計画・支援計画に基づき、指導できたか。 ・相談室だよりを生徒の指導・支援に生かすことができたと答えた職員の割合を50%とする。 ・職員研修後のアンケートで「今後の生徒対応に生かせる」という回答を50%以上とする。 <p>●卒業後の進路先でも通用する基本的な生活習慣の定着。遅刻数減。 【3学年】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回の個人面談を行う。 ・生徒指導部と連携をとり、指導にあたる。 ・遅刻の多い生徒の家庭と連絡を密にし、原因となる状況の把握と改善。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期末にアンケートを実施し、「規律正しい生活を送れた」と回答した生徒を90%以上とする。 ・学期ごとに集計し、昨年度比5%減。 <p>●修学旅行の成功を目標として、規律正しい生活を送れるよう指導する。 【2学年】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回の個人面談を行う。 ・昼休みに3階教室・廊下の巡視を行う。 ・朝のSHRで、身だしなみ点検を行う。 ・遅刻や欠席をしない、忘れ物をしない、提出期限を守る等、HRで声掛けを行う。 ・授業準備をして自席でチャイムを待てるよう、HR・授業で徹底する。 ・定期テスト期間の学習計画と結果をシートで報告させる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期末にアンケートを実施し、「規律正しい生活を送れた」と回答した生徒を90%以上とする。 <p>●家庭学習時間約1時間の定着を図る。 【1学年】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回の個人面談を行う。 ・学年で宿題を出す（英・数・国・一般常識） 	<p>○【未達成】 2名(昨年比±0)</p> <p>○【未達成】 10名(昨年比+9)</p> <p>○【達成】80%</p> <p>○【達成】100%</p> <p>○【達成】90%超え</p> <p>○【未達成】 延べ369名(昨年比+279) (1月末現在)</p> <p>○【達成】 1学期末95% 2学期末97%</p>	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>
--	--	--	----------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題テストを行う。 ・各学期考査ごとに学習記録を取り、振り返りを行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期末で生徒アンケートを実施し、家庭学習約1時間出来た生徒を60%以上とする。 	○【未達成】50% 平均58分	
3. 人権教育の 推進	<p>○生徒、教職員、保護者が差別につながる言動に出会ったときに気づくことができるように個別の人権問題に係わる実践力を身につける。</p> <p>●人権意識を高めるため、年複数回の教員研修を実施し、人権学習の質を高める。 【人権教育担当】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習LHRにあたって、指導案検討会や事後の振り返りを行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートにおいて、人権についての学習が十分行われているかとの問いに、「そう思う・だいたいそう思う」と答えた生徒を80%以上とする。 	○【達成】93%	
改善課題			
<p>○学校生活アンケートの結果、年々学校生活に前向きに取り組もうとしている生徒が増えており、生徒の成長が見られる。生徒が1年次から目的意識を持ち、進路実現に向けて取り組むことができるよう、キャリア教育をさらに充実させる</p> <p>○年々、問題行動の数が減ってきているが、頭髪・服装・遅刻などの基本的な生活習慣に課題がある生徒もいる。引き続き家庭との連携や進路指導の面からもアプローチし、生徒自身に気づかせ、成長を促したい。</p>			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1. 教職員の資質 向上	<p>○授業参観、教科会の活用を通じて教職員の授業力をはじめとする力量向上に取り組む。</p> <p>●各教科に授業参観を促し、授業の方法や工夫について共有する教科会を行う。 【教務部】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員に授業参観を促す。 ・ICT機器を活用するため、電子黒板の機能説明、利用手引きを作り、全教職員に提示する。 ・観点別評価について、ルーブリックを作成する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員の授業参観数の平均が3回以上。 ・生徒満足度調査で、授業関連の満足度80%以上。 ・ICT機器を活用した授業を行った教員80%以上。 ・観点別評価について、各教科でルーブリックが作成できたかどうか 	<p>○【未達成】平均2回</p> <p>○【達成】授業の進め方88%、わかりやすさ85%</p> <p>○【達成】91%の教員が活用</p>	◎

	か。	○観点別評価基準を作成	
2. 地域への発信	<p>○広報活動の体制と内容を改善・充実させる。</p> <p>●中学生に対して魅力あるメッセージが届けられるように、オープンスクールの実施内容を見直す。 【総務部】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校で何を学び何が実現できるかを明確に伝える。 ・新型コロナウイルス感染症の発生状況等も考慮して、効率のよい実施内容とする。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにおいて、「内容が理解できた」「以前よりも本校に興味が出た」がそれぞれ80%以上とする。 <p>●広報活動の内容や方法等を改善し、効果的な広報とする。 【広報委員会】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携を密にし、選抜方法の変更点や本校のカリキュラムの特色(単位制・高大連携等)、実績等をわかりやすく伝える。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期選抜の倍率を1.10倍以上にする。 	<p>○【達成】85.3%</p> <p>○前期選抜志願者 172名 (昨年比+16名)</p> <p>12月の希望状況 194名 (昨年比+12名)</p>	
3. 教職員の働きやすい環境づくり	<p>○総勤務時間を縮減し、働きやすい環境づくりを推進する。</p> <p>●業務を精選する。 【教頭】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回の定時退校日を設定する。 ・会議資料の精選やデスクネットを活用し、会議時間の短縮をさらにすすめる。 ・45時間以上の過重労働職員の数を0人とする。 ・休暇取得を増加させる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回の定時退校日(原則第2・4の月曜日)に定時に退校できた職員の割合を80%以上にする。 ・放課後に開催された会議のうち、60分以内で終了した会議の割合を100%とする。 ・休暇取得20日以上、うち年休取得10日以上を目指す。 ・年360時間を超える時間外労働者数を0人とする。 ・月45時間を越える時間外労働者の延べ人数を0人とする。 <p>○部活動指導の工夫・改善、「部活動ガイドライン」への対応。</p> <p>●部活動休養日を設定する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動休養日を原則週1回土・日(試合等がある場合は翌週)に設定する。 	<p>○【未達成】72%</p> <p>○【ほぼ達成】97%</p> <p>○【ほぼ達成】休暇取得 17.7日、年休取得10.9日 (2月末現在)</p> <p>○【未達成】4人(2月末) 昨年7人</p> <p>○【未達成】35人(2月末) 昨年45人</p>	◎

	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回設定できた部活動の割合を100%とする。 ○不祥事防止を他人事としてとらえず、自分の問題としてとらえ、信頼される学校であるよう行動する。 ●不祥事を根絶するため、職員への啓発を図る。 【管理職】 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度作成した「信頼される学校であるための行動計画」に則った活動・点検を行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信頼される学校であるための私の行動計画」の自己評価で「できた」と答えた職員の割合を100%とする。 	<p>○【ほぼ達成】99% (2月末)</p> <p>○【ほぼ達成】不祥事の防止・服務規律の確保100%、働きやすい職場づくり96.4%、授業力の向上86.3%</p>
--	--	--

改善課題

- 生徒急減期に向けて、中学生が本校の教育内容について、より理解を深めることができるよう情報発信に力を入れる。
- 総勤務時間は縮減傾向にあるが、教員定数が減少する中、業務を精選するとともに、特定の教員に業務が偏らないよう平準化を図る。
- 不祥事を自分事として問題意識を持つよう、定期的に自己点検を行う。

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保健室利用状況や教育相談の利用者が昨年度より減少しているが、コロナ禍で見えないところで生徒のストレスがたまっていることも考えられる。引き続き、教育相談体制等の充実を図り、生徒を見守っていただきたい。 ○生徒は学校行事を楽しみにしている。コロナ禍で実施が難しいこともあると思うが、工夫して実施していただきたい。 ○久居高校はスポーツ科学コースが特色のあるコースであったので、普通科に組み入れられても、さらなる充実を図っていただきたい。
----------------------------	---

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ウイズコロナの時代の中、感染予防を徹底しつつ、計画的に教育活動を進める。 ○個人面談を定期的実施し、気になる生徒について、情報共有を図るとともに教育相談・特別支援教育の更なる充実を図り、生徒一人ひとりの状況把握と指導・支援を行う。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生が本校の教育内容について、より理解を深めることができるよう、ホームページの定期的な更新や中学校訪問を行い、情報発信に力をいれる。 ○行事・業務等のスクラップ&ビルドを行うことで、多忙感を解消し、生徒と向き合う時間を確保するとともに勤務時間の縮減を図る。